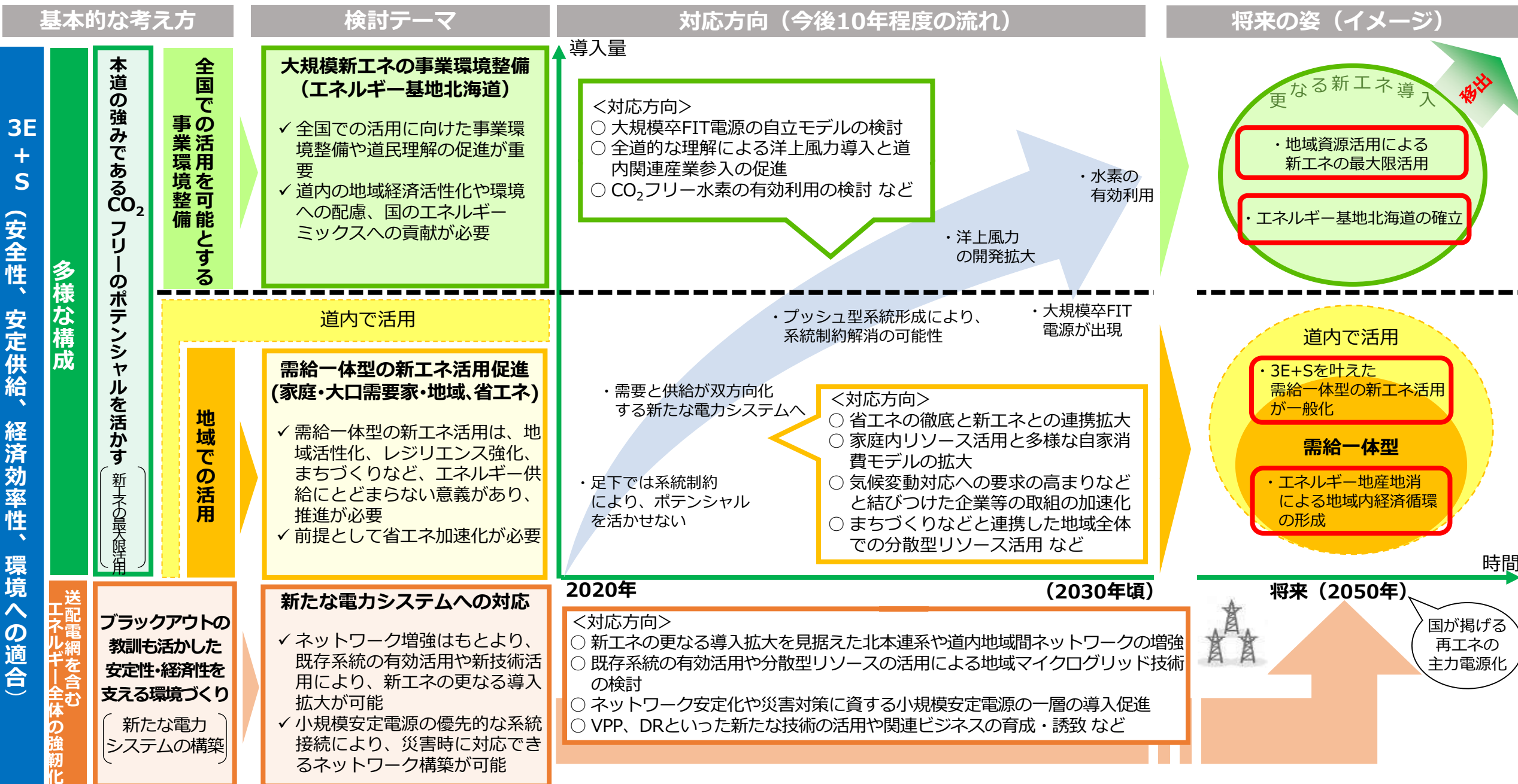


# ■エネルギー施策懇話会の検討結果の全体像



# ■新たな電力システムへの対応

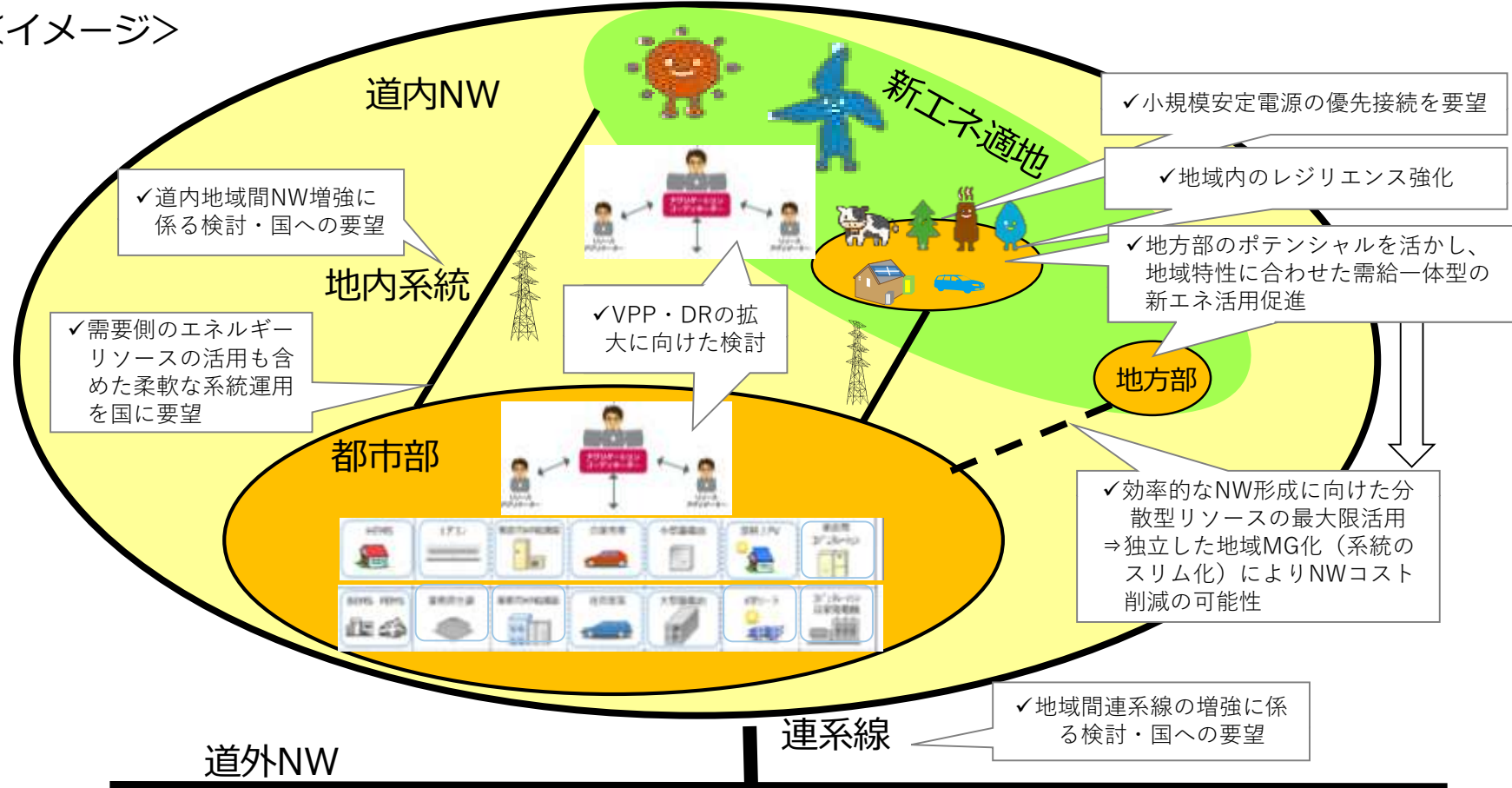
## 対応方向

道内地域間NWの増強	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新エネの更なる導入を見据えた検討</li> <li>＜検討の視点例＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>✓費用対効果を考慮</li> <li>✓広域的、効果的な系統運用</li> <li>✓レジリエンスを高めることが可能な系統形成</li> <li>✓エネルギーミックス達成といった国施策との整合</li> </ul> </li> </ul>
既存系統の有効活用や地域MG技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分散型リソース等を最大限活用するためのマイクログリッド技術・制度設計の検討</li> <li>○本道にふさわしい地域マイクログリッドのビジネスモデルの検討</li> <li>○国の制度整備に関する情報収集</li> </ul>
小規模安定電源の効果的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ネットワーク安定化や災害対策に資する小規模安定電源の一層の導入促進</li> <li>○小規模安定電源が優先的に系統接続されることを国に要望</li> </ul>
新たな技術（VPP、DR）の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○VPP、DRといった新たな技術を活用した本道ならではの需給一体型モデルの検討</li> <li>○関連ビジネスの育成・誘致</li> </ul>

### ＜基本的な考え方＞

- ✓北本連系の更なる増強や、道内地域間ネットワークの増強により、新エネの更なる導入拡大が可能となる。
- ✓既存系統の有効活用や地域マイクログリッドなど新たな技術の活用により、系統制約を克服し、新エネルギーの更なる導入拡大につなげることが可能となる。
- ✓地熱、バイオマス、水力の小規模安定電源の優先的な系統接続により、災害時には系統から遮断して対応できる地域の電力ネットワークの構築が可能となる。
- ✓国の電力ネットワーク改革の検討状況を踏まえつつ、VPPやDRなど新たな技術の活用可能性について検討することで、電力の安定供給やエネルギーコストの削減、さらには新たなビジネスの創出につなげることが可能となる。

### ＜イメージ＞



新たな電力システムへの対応

## 対応方向

- 徹底した省エネ推進
- ZEBやZEHの普及拡大
- 次世代自動車普及とインフラ整備の一体的な推進
- 新エネとの連携拡大
  - ✓ PVやEVなど新エネを活用した地域全体での省エネ拡大
  - ✓ 暖房等への新エネの熱利用

省エネの加速化

- 家庭での適用
  - ✓ 家庭内リソース活用による多様な自家消費モデルの拡大
  - ✓ 暖房需要の脱炭素の加速化に向けた消費構造の転換
- 大口需要家での適用
  - ✓ 気候変動対応への要求の高まりなどと結びつけた取組の加速化
  - ✓ 企業イメージ向上に本道の豊富なエネルギーの活用を促進
- 地域（地産地消）での適用
  - ✓ 分散型リソースを組み合わせたエネルギーシステム構築
  - ✓ まちづくりなどと連携した地域全体での新エネ活用拡大

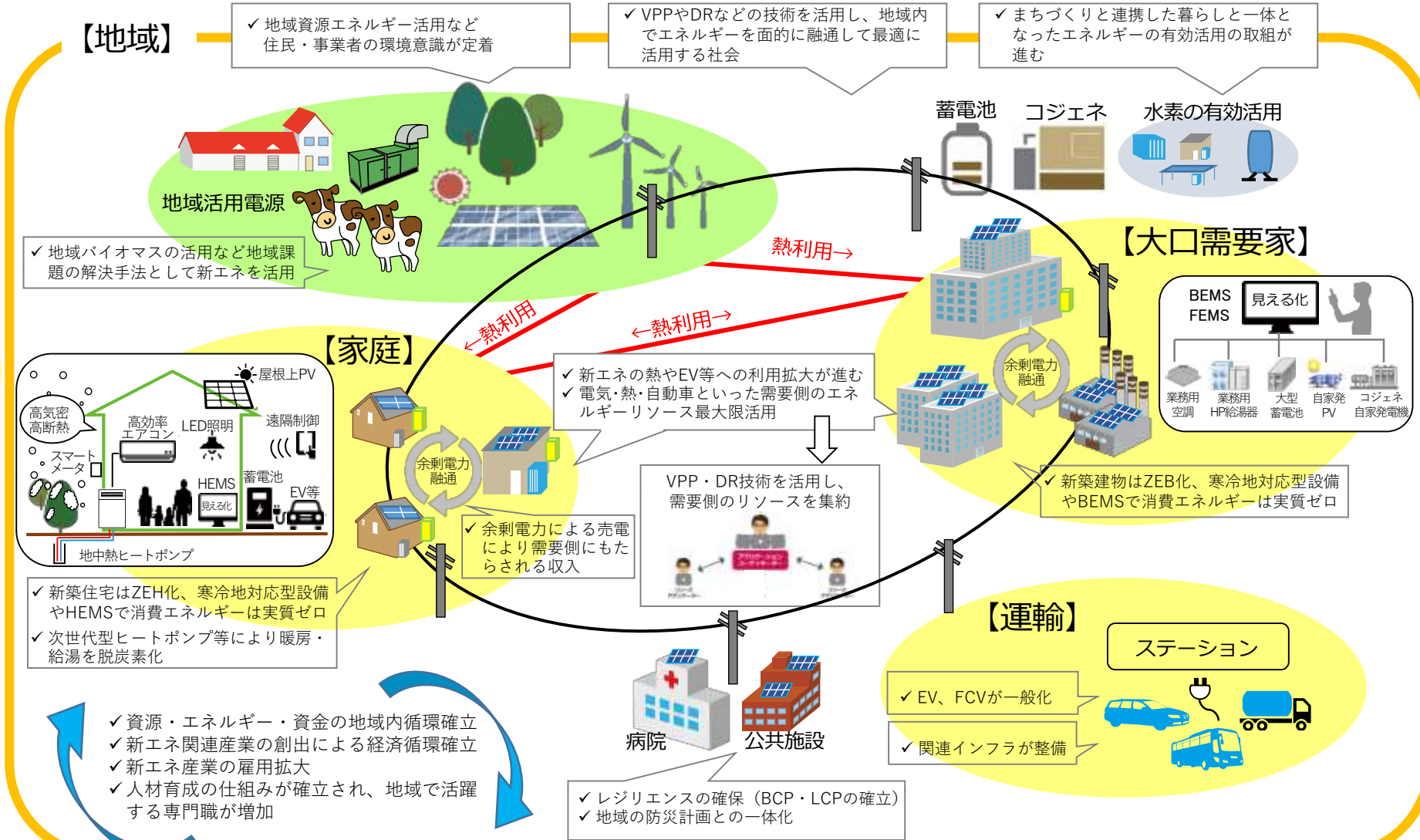
需給一体型の新エネ活用促進

需給規模に応じた活用促進

## 将来の絵姿

安全性、安定供給、経済効率性、環境への適合を叶えた需給一体型の新エネ活用が一般化

エネルギー地産地消による地域内循環が形成



# ■エネルギー基地北海道（大規模新エネの事業環境整備）

大規模新エネの事業環境整備

## 対応方向

豊富な資源を活用した自立モデル（大規模卒FIT電源）

競争力のある電源の導入促進（洋上風力）

CO<sub>2</sub>フリー水素の有効活用

- 安価な電源としての長期安定的な有効利用
  - ✓ メンテナンス体制確立と持続的な再投資につながる事業モデル構築
  - ✓ アグリゲータ等の受け入れ環境づくり
- 自立モデルの検討
  - ✓ 地域経済への貢献が図られる自立型のモデル検討
- 全道的な理解促進による導入拡大
  - ✓ ポテンシャル活用、地域経済への波及効果、エネルギーミックスへの貢献の観点からの取組推進
  - ✓ 海域の先行利用者や地域の理解促進
- 道内関連産業への参入促進
  - ✓ 建設、メンテナンスへの参入促進の取組や人材確保・育成の仕組みづくり
- コスト削減に向けた生産地と消費エリアを近接化した取組促進
- 環境価値をインセンティブ化する仕組みづくりについて国に働きかけ
- 道内産業でのFCVやエネファームの有効活用
- 現行エネルギーの代替検討

## 将来の絵姿

地域資源活用により道内の新エネが最大限度活用

エネルギー基地北海道が確立し、再エネ主力電源化に貢献

